

日本物理学会第 78 回年次大会 (2023 年)
領域 7 インフォーマルミーティング議事録

日時： 2023 年 9 月 17 日 (日) 12:45 - 13:30

場所： B201

主催： 領域 7 (運営委員) 領域 7 インフォーマルミーティング

【議題目次】

1. 学生優秀発表賞 表彰式
2. 現領域代表、副代表、運営委員の紹介
3. 次期領域代表、副代表の選出・承認【審議事項】
4. 次期領域運営委員の紹介
5. 次々期領域運営委員の選出・承認【審議事項】
6. メーリングリスト運用について
7. 概要集提出率について
8. 各種賞について (日本物理学会論文賞・米沢富美子記念賞)
9. 関連会議・シンポジウムの紹介
10. 次回大会について
11. 学生優秀発表賞の実施方法について【審議事項】
12. 今後の領域 7 の運営について【審議事項】

1. 学生優秀発表賞

9 月 16 日午後に行われた領域 7 のポスターセッションにおいて、学生優秀発表賞の審査が行われた。領域代表・副代表・運営委員・次期運営委員から 15 名に審査を依頼し、以下の観点で審査を行った。

- ・ 研究内容 (研究の意義・新規性、妥当性)
- ・ プレゼンテーション (ポスターの構成、伝わりやすさ)

その結果、下記 3 名 (審査対象 15 名) を受賞者として選出した。

田中 優輝さん (京大院理)

「量子スピン液体候補 $k\text{-(ET)}_2\text{Cu[Au(CN)}_2\text{]Cl}$ における磁性不純物の影響」

住吉 亜衣菜さん (東理大理)

「カーボンナノチューブの電流ゆらぎにおける量子-古典クロスオーバー」

只野 涼さん (埼玉大院理工)

「傾角反強磁性を示す単一成分分子性導体 Au(dexbdt)₂ の μ SR 研究」

インフォーマルミーティングでは表彰式、受賞者の自己紹介等が行われた。

2. 現領域代表、副代表、運営委員の紹介

現領域代表：

佐々木 孝彦 先生 (東北大金研) 【任期：2023年4月～2024年3月】

領域副代表：

久保園 芳博 先生 (岡山大) 【任期：2023年4月～2024年3月】

領域運営委員：

福岡 脩平 (北大院理) 【任期 2022年10月～2023年9月】

松浦 弘泰 (東大理) 【任期 2022年10月～2023年9月】

佐藤 拓朗 (分子研) 【任期 2023年4月～2024年3月】

丸山 実那 (筑波大数理) 【任期 2023年4月～2024年3月】

が紹介された。

3. 次期領域代表、副代表の選出・承認【審議事項】

次期領域代表として、

久保園 芳博 先生 (岡山大)

【任期：2024年4月～2025年3月】

領域副代表として、

中澤 康浩 先生 (阪大)

【任期：2024年4月～2025年3月】

が選出され、承認された。

4. 次期領域運営委員の紹介

次期領域運営委員

佐藤 拓朗 (分子研) 【任期 2023年4月～2024年3月】

丸山 実那 (筑波大数理) 【任期 2023年4月～2024年3月】

今城 周作 (東大物性研) 【任期 2023年10月～2024年9月】

坂田 雅文 (岐阜大) 【任期 2023年10月～2024年9月】

が紹介された。

5. 次々期領域運営委員の選出・承認【審議事項】

次々期領域運営委員【任期 2024 年 4 月 ~ 2025 年 3 月】として、

- ・清水 直(電力中央研究所) (2023 年 10 月以降 富山県立大工)
- ・須波圭史(産総研)

が選出され、承認された。

6. メーリングリスト運用について

メーリングリストの登録件数が、948 (2023 年 9 月 16 日現在) であることが奉告された。(最大 1 0 0 0 件)

注意事項として、以下の点が報告された：

“差出人が bunyu4@r7.div.jps.or.jp (R7.DIV.JPS.OR.JP ポータル、R7.DIV.JPS.OR.JP カスタマーサポート) 等から届く、件名に【重要なお知らせ】【重要】と書かれたメールは迷惑メールですので、リンク先を開かないようにお願いします。”

7. 概要集提出率について

領域 7 の発表件数	8 2 件
概要集提出数	7 9 件
提出率	9 6 . 3 % (全体 6 位)

が報告された。

8. 各種賞について (日本物理学会論文賞・米沢富美子記念賞)

日本物理学会論文賞の領域締め切りは、2023 年 10 月 24 日(火)必着
米沢富美子記念賞の領域内締め切りは、2023 年 10 月 18 日(水)
と報告された。

日本物理学会論文賞の推薦書類は、
領域 7 メーリングリストに送付済み
また、

領域 7 の web からダウンロード可能である (今週中 (9 月第 4 週中) に更新予定)
であることが報告された。

9. 関連会議・シンポジウムの紹介

有機固体若手の会 2023 冬の学校

日程：2023 年 11 月 24 日(金)~25 日(土)

開催場所：東北大学金属材料研究所 2 号館講堂

* 事前参加登録締め切り： 2023 年 10 月 29 日 (日)

講演概要締め切り： 2023 年 11 月 12 日（日）
<https://sites.google.com/view/organic-ws-2023/>
杉浦先生（東北大）よりご紹介された。

10. 次回大会について

オンライン開催(春季大会)
期日： 2024 年 3 月 18 日(月)～21 日(木)

※今後は 3 月に春季大会をオンラインで行い、
9 月に年次大会を現地開催することが濃厚

次々回：年次大会
開催場所：北海道大学（札幌キャンパス）
期日：2024 年 9 月 16 日(月)～19(木)

が報告された。

11. 学生優秀発表賞の実施方法について 【審議事項】

今後は現地開催とオンライン開催が交互になる可能性が高いことから、今後の学生優秀発表賞の審査も

- ・ 現地開催の場合はポスター発表から選出
- ・ オンライン開催の場合は口頭発表から選出

することが審議され、承認された。

また、学生優秀発表賞受賞者には、開催方法に依らず、IM にて簡単な自己紹介・研究成果紹介の場を設けることも承認された。

12. 今後の領域7の運営について 【審議事項】

ここ数年で物理学会会員が大幅に減少し、また領域7での発表件数も減少傾向にある。特に本大会では領域7での講演者数が100人を下回っている。今後領域7を盛り上げていくためには、何等かの方策を講じる必要があることが議論された。

議論の際上がったコメントを以下箇条書きにする。

- ・ 将来を考えると常時100件程度の発表がある方がよいのではないか。
- ・ シンポジウムやチュートリアル講演による活性化が必用
- ・ 物質開発の研究者の講演を増やすように努力が必要。
- ・ 分子エレクトロニクス分野の先生に講演して頂くのはどうか。

- ・ 学術変革領域の共催シンポジウムを開催することは可能か。
- ・ 物理学会全体としても発表者数は減少しているが、領域7は特に減少している。
- ・ 物理学会以外の人に講演を促すようにすべきだ。
- ・ これまで領域7で発表されていた先生が他領域で発表されている。再び領域7で発表してもらえるように声をかけるべき。
- ・ 化学系の人に領域7で発表してもらうためには、物理（領域7）の人も化学系の学会で発表すべきではないか。

以上